



シングルレバー 混合栓

台付タイプ

取扱説明書

使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
この取扱説明書は、別紙「安全上のご注意」と合わせてご使用ください。

このたびは、シングルレバー混合栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

製品同梱明細

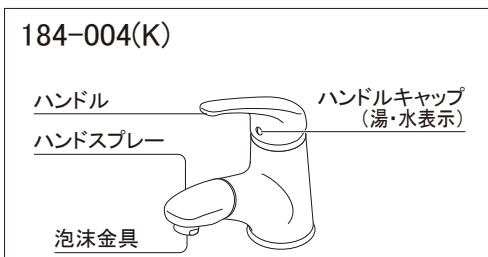
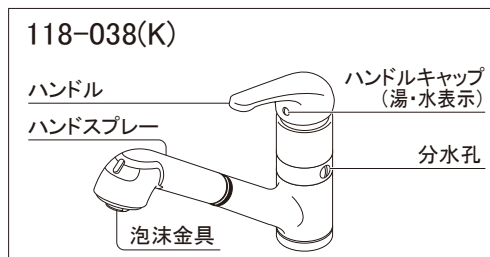
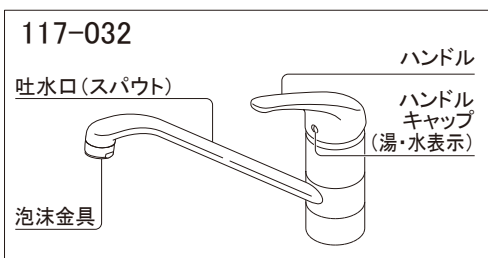
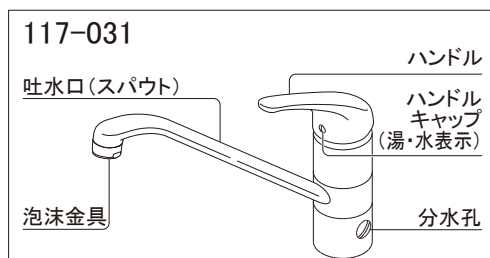
■この取扱説明書の製品同梱明細は各機種ごとに表示しておりますので、施工される際に各部材をご確認のうえ、施工説明書と合わせてご使用ください。

品名	本体	(逆止弁付き) (2金具)	(逆止弁なし) (2金具)	クリップセット (2コ)	ハンドスプレーセット	ポップアップ引棒	ポップアップ用連結金具	(分水孔アダプター) (逆防式) (1コ)
117-031	○	○	—	○	—	—	—	○
117-031K	○	—	○	○	—	—	—	○
117-032	○	○	—	○	—	—	—	—
117-032K	○	—	○	○	—	—	—	—
117-105	○	○	—	○	—	—	—	—
117-105K	○	—	○	○	—	—	—	—
118-038	○	○	—	○	○	—	—	○※2
118-038K	○	—	○	○	○	—	—	○※2
118-049	○	○	—	○	○	—	—	—
118-049K	○	—	○	○	○	—	—	—
183-038	○	○	—	○	—	—	—	—
183-038K	○	—	○	○	—	—	—	—
183-039	○	○	—	○	—	○	○	—
183-039K	○	—	○	○	—	○	○	—
184-004	○	○	—	○	○	—	—	—
184-004K	○	—	○	○	○	—	—	—
184-022	○	○	—	○	○	—	—	—
184-022K	○	—	○	○	○	—	—	—

※1)寒冷地仕様には逆止弁は内蔵されていません。
※2)同梱されている分水孔アダプター(逆防式)は2個です。

*上記部材に加えて、
●取扱説明書 ●施工説明書 ●安全上のご注意 ●六角レンチ ●保証書を同梱しています。

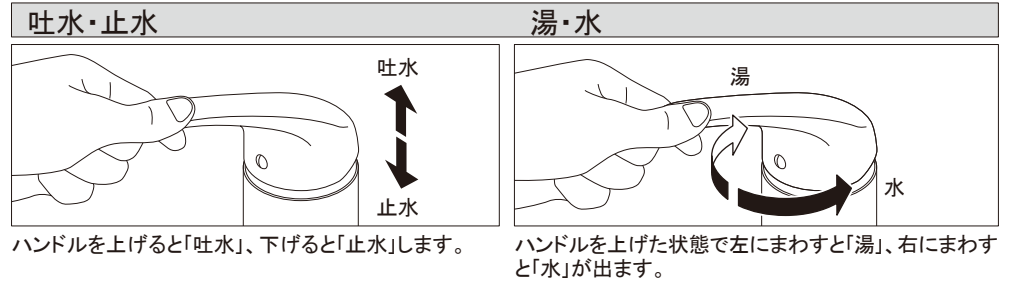
各部のなまえ



*品番によっては、図と製品の形状が一部異なります。

使用方法

●ハンドルの操作方法(各品番共通)

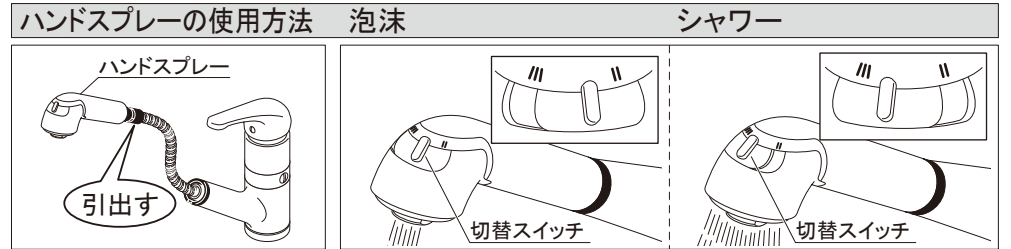


ハンドルを上げると「吐水」、下げると「止水」します。
ハンドルを上げた状態で左にまわすと「湯」、右にまわすと「水」が出ます。

●湯を使用する際は、必ずハンドルを水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側へまわし、好みの温度に調節してください。
湯側を先に開栓すると高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。
●ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に操作しますとウォーターハンマー(衝撃音)が生じ、配管から漏水を起こす恐れがあります。

●ハンドスプレーの操作方法

(118-038(K)・118-049(K)・184-004(K)・184-022(K))



ハンドスプレーを混合栓本体より引出してご使用ください。
切替スイッチを「2本線マーク」に合わせると「泡沫吐水」になります。
切替スイッチを「3本線マーク」に合わせると「シャワー吐水」になります。

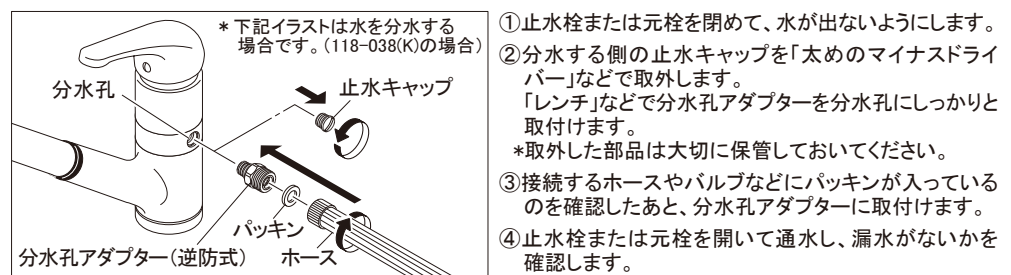
●ハンドスプレーの引出口に直接水をかけないでください。水がキャビネット内部に入る恐れがあります。
●シャワーホースは、必要以上に引出したり、無理に曲げないでください。折れたり破損したりする恐れがあります。
●スパウトを回転させる際は、ハンドスプレーに無理な衝撃や荷重をかけないでください。ハンドスプレーの根元に無理な荷重がかかり損傷し、漏水事故につながる恐れがあります。

定期的にはハンドスプレーとシャワーホースの接続部に水もれがないことを確認してください。
月に1回以上キャビネット内の漏水や、水受容器に水がたまっていないか点検をしてください。

●分水孔つき混合栓の使用方法(117-031(K)・118-038(K))

分水孔アダプターを使って、混合栓から湯・水を分水することができます。

*同梱されている分水孔アダプターには、逆止弁が内蔵されています。
湯・水両方を分水される場合は、分水孔アダプター(逆止弁付き) [品番019-001:別売]をお求めください。



①止水栓または元栓を開けて、水が出ないようにします。
②分水する側の止水キャップを「太めのマイナスドライバ」などで取外します。「レンチ」などで分水孔アダプターを分水孔にしっかりと取付けます。
*取外した部品は大切に保管しておいてください。
③接続するホースやバルブなどにパッキンが入っているのを確認したあと、分水孔アダプターに取付けます。
④止水栓または元栓を開いて通水し、漏水がないかを確認します。

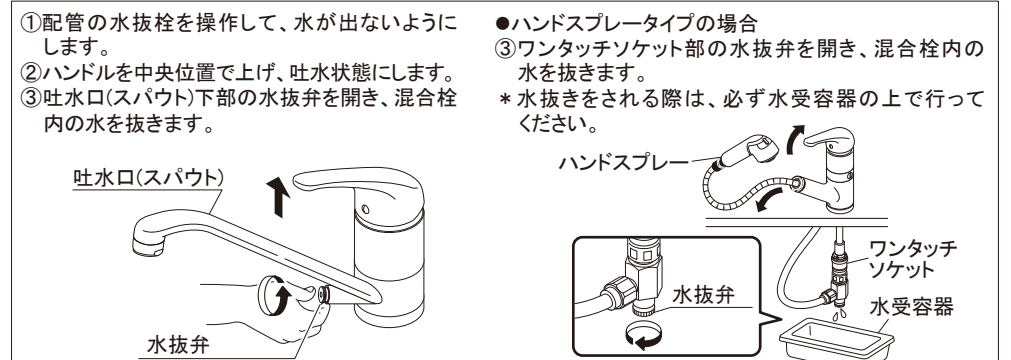
●分水孔を使用する場合は、必ず接続する器具の取扱施工説明書で使用温度や使用条件などをご確認のうえ、正しくご使用ください。
●ホースやバルブなどを取付ける場合は、分水孔アダプターがゆるまないようご注意ください。締付け方がゆるいと、漏水を起こし家財などを濡らす恐れがあります。

●ポップアップバー付き混合栓使用時の注意事項(183-039(K))

●本体後部のポップアップバー穴に水をかけないでください。キャビネット下へ漏水を起こす恐れがあります。

●寒冷地用の水抜き方法

凍結の恐れがある場合は、使用后水抜きを行ってください。



●水抜きをされる際は、吐水口(スパウト)や混合栓本体が熱くなっていたり、高温の湯が出てくる恐れがありますのでご注意ください。やけどの恐れがあります。

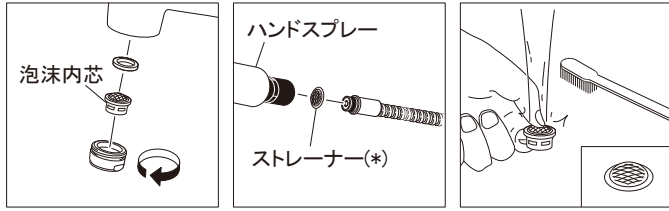
●一般地用の凍結防止方法

凍結の恐れがある場合は、水栓周囲の温度が0℃以下にならないようにしてください。なお、0℃以下になる場合は、以下のような方法で予防してください。

●配管を保温する。
●水栓から水を少量出しておく。(目安として1分間に牛乳ビン1本分程度)
*凍結により破損した場合は、保証期間内でも無償修理の対象外となります。

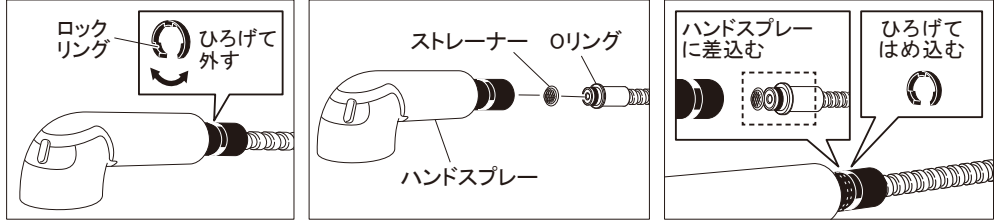
お手入れのしかた

●泡沫内芯・ストレーナーのお掃除



最初ご使用になっていた時より著しく水の出が悪くなった場合は、泡沫内芯・ストレーナーを取外して、ゴミなどの異物をブラシなどで水洗いして取除いてください。

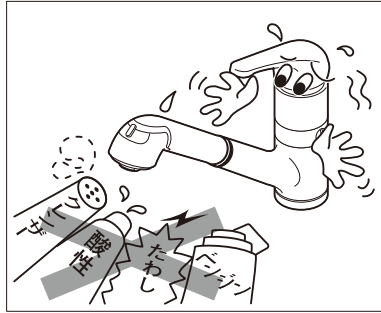
* ストレーナーの外しかた (118-038(K)・118-049(K)・184-022(K))



①ロックリングを外します。 ②ストレーナーを外します。 ③逆の手順で組付け戻します。

注意 再組付けの際は、スペーサーの入忘れにご注意ください。再組付けの後にはハンドスプレーを引出して通水し、接続部に漏水がないか確認してください。

●器具のお手入れ



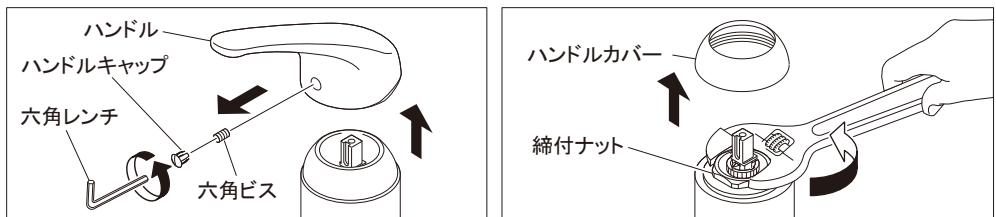
いつまでも美しくご使用いただくために。

- 水栓器具の金属部は…ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。
- 水栓器具のプラスチック部・塗装面は…乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭取ってください。

注意 金属たわしやクレンザー・みがき粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、金属表面を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますので使用しないでください。

カートリッジの交換方法

*作業の前に、必ず止水栓または元栓を閉めて止水してください。



①ハンドルキャップを取外します。付属の「六角レンチ」で六角ビスを取外し、ハンドルを上方向へ抜取ります。 ②ハンドルカバーを左にまわして取外します。締付ナットに「レンチ」などをかけ、左にまわして取外します。



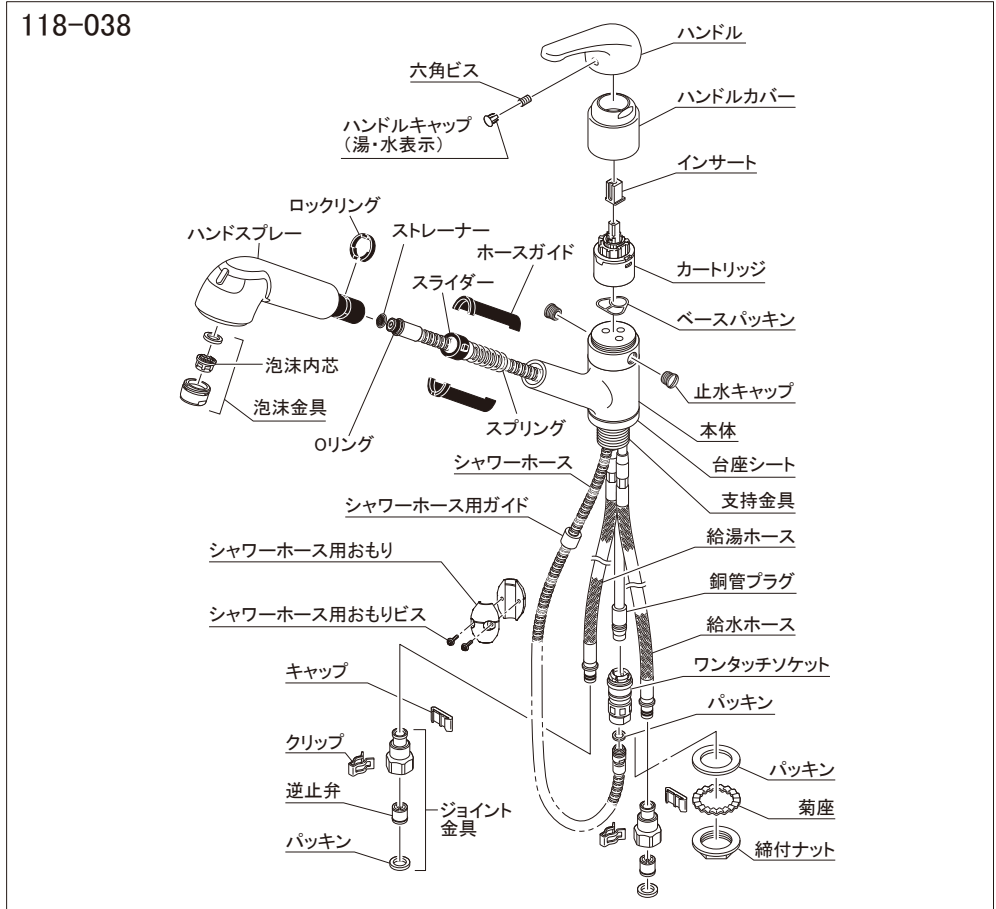
③古いカートリッジを抜き取り、新しいカートリッジの底にベースパッキンが付いているのを確認してから、底の凸部が混合栓本体の凹部に合うように差込んでください。 ④①～②の逆の手順で組直してください。

*取付後は、止水栓または元栓を開いて通水し、必ず漏水がないかを確認してください。

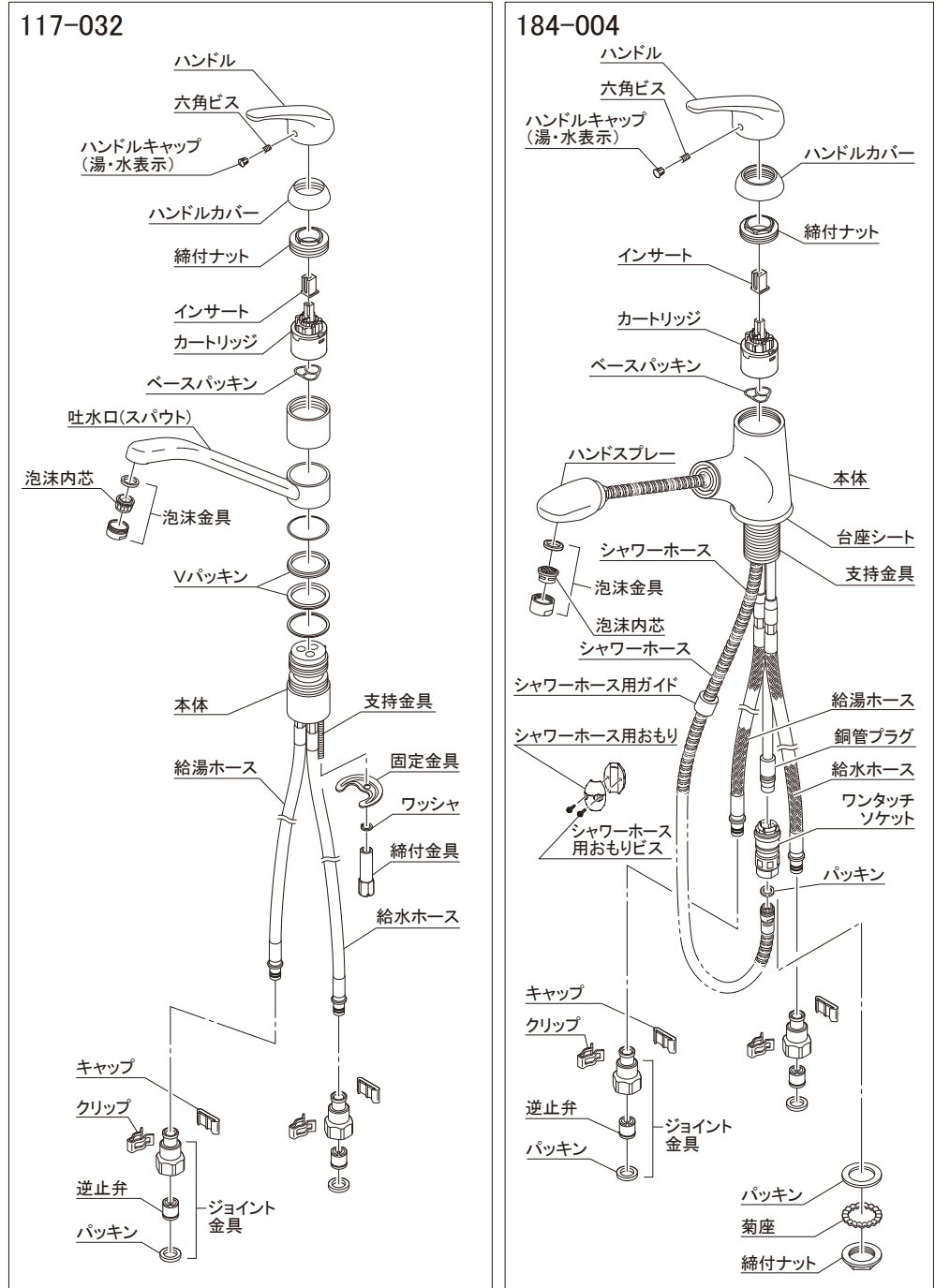
取付時の注意

- ハンドル内にインサートが残っている場合は、インサートを取外してください。
- カートリッジ底にベースパッキンがあることを確認してください。
- カートリッジ底の凸部を混合栓本体の凹部に合わせてください。
- 締付ナットは適度な力で締付けてください。(締付け過ぎるとハンドルが操作しづらくなります。)

分解図



分解図(つづき)



*品番によっては、図と製品の形状が一部異なります。*製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

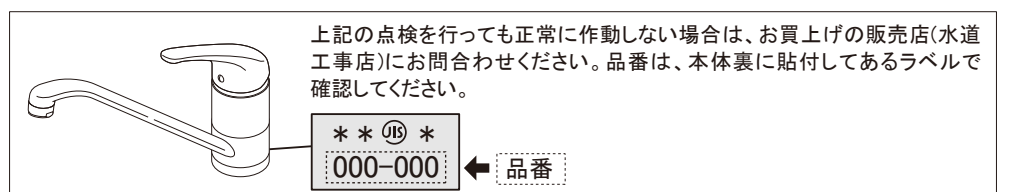
こんな時には…簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、修理を依頼される前に上記分解図を参考に次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処のしかた	
吐水不良	吐水量が少ない	●湯・水側の止水栓が閉まっている ●泡沫内芯またはストレーナーが目詰まり	●適正水量になるまで止水栓を開く ●泡沫内芯またはストレーナーのゴミを取除く
	全く吐水しない	●本体に湯・水がきていない ●湯・水側の止水栓が閉まっている	●湯・水の元バルブを開く ●適正水量になるまで止水栓を開く
止水不良	止水できない	●ハンドルに異物が付着している ●カートリッジの異常	●異物を取除く ●カートリッジを交換する
	ハンドル下より漏水	●締付ナットがゆるい ●ベースパッキンの異常	●締付ナットを締める ●カートリッジを交換する
高温しか出ない	●水側の止水栓が閉まっている ●給水圧より給湯圧の方が高い	●水側の止水栓を調節する ●止水栓を調節する	
	●湯側の止水栓が閉まっている ●給湯圧より給水圧の方が高い	●湯側の止水栓を調節する ●水側の止水栓を調節する	
低温しか出ない	●給湯器の能力(給湯器の異常)	●別紙「安全上のご注意」の「●使用条件」をご参照ください	
操作しづらい	●ハンドルのガタつき	●付属の「六角レンチ」で六角ビスを締直す	
ハンドルがかたい	●締付ナットの締過ぎ ●カートリッジの異常	●締付ナットを適度な力で締直す ●カートリッジを交換する	
	●ハンドスプレーの吐水が切替わらない	●ハンドスプレーの異常	●ハンドスプレーを交換する
ホースが戻らない	●配管に干渉している	●配管を調整し干渉しないようにする	

分解禁止 本体内蔵のカートリッジや部品などは、絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

●修理を依頼されるときは



上記の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買上げの販売店(水道工事店)にお問合わせください。品番は、本体裏に貼付してあるラベルで確認してください。

株式会社 カワダイ

本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

東京 ☎(03)3552-0981 名古屋 ☎(052)504-1551 大阪 ☎(06)6730-3391 福岡 ☎(092)611-4611
広島 ☎(082)278-2821 札幌 ☎(011)704-1511 仙台 ☎(022)239-8371

0114GF

M-A1801H

無断転載・複写を禁ず